

ふるさと応援団木島平会会報

会員の皆様へ 新年のご挨拶

ふるさと応援団木島平会 会長 石川幸雄

新年あけましておめでとうございます。一年の計は元旦にありとか名言があります。ふるさと応援団木島平会員の皆様におかれましては木島平村の営業マン、広報マンとしての活動を今年もよろしくお願いいたします。また、昨年は今年開校となる木島平小学校のモニュメントの制作費のご寄附について多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

木島平村は変わりましたが、想い出は変わりませんし、新しい見どころや発見があります。

私たち夫婦は日本百名山を登頂しました。全国どこへ行ってみても四季の移ろいに満ちた木島平ほど素晴らしい所はないと確信しました。そこで25人乗りのバスで4回、数人のグループなどで数回、木島平村を案内したり知人のグループや家族旅行のホテルの紹介などを行っています。

木島平村に訪れた人は皆言います。V字型の山に囲まれた村だと思っただけで素晴らしい所だ。やまびこの丘公園に行くといハイジの牧場、スイスの景色に似ている。スイスに来たようだと言ってくれました。また、日本一のダリア園や食事処もあります。

大塚山公園の小川にホタルを見に行った時は、何年ぶりにホタルを見て感動しました。また他の人は蛙の鳴き声と星が沢山見えてびっくりしたと言ってくれました。村にはこの他、馬曲温泉、カヤの平、郷の家、直売所、そば処樽滝などが整っています。

自然劇場木島平村、美しきふるさと木島平村を会員の皆様のお力で応援をお願いいたします。

☆区民の声☆ 元気な活動や自慢、今後の展望を紹介

和栗区

地区のテーマ（将来像）

あかるい、すみよい環境をつくり、子孫に引き継ぐ

和栗地区は村の最北端の東傾斜地にあり、戸数は26戸102人の区です。歴史的に古く、和栗古墳を筆頭に古墳が数多く散在、また、天然記念物の長光寺の大イチョウが有名です。和栗古墳は積石塚古墳で石室は合掌形、長さ3.7メートル、幅1.5メートル、高さ0.8メートルで勾玉管玉切器須恵器等多数の遺物が出土、公民館には直刀4振り保管されています。大イチョウは遠州秋葉山の三尺坊が神戸の大イチョウの枝を杖として携え、それが活着して成長したという説と、植えたという説があり、推定樹齢は七百年、樹高約35メートルです。このほか、福寿草の群生地や数少ないゲンジボタルの生息地でもあります。

史跡を大切に保存し、あかるい、住みよい環境をつくり、子孫に引き継ぐため、地区の環境整備としてホタルの池をつくる計画をしました。一時、長光寺の清水が減少し心配されましたが、村や飯山市の配慮により水の確保もできたことからホタルの池の整備も終わりホタルのたくさん飛ぶ地区にしたいと考えています。



▲樹齢700年ともいわれる長光寺の大イチョウ

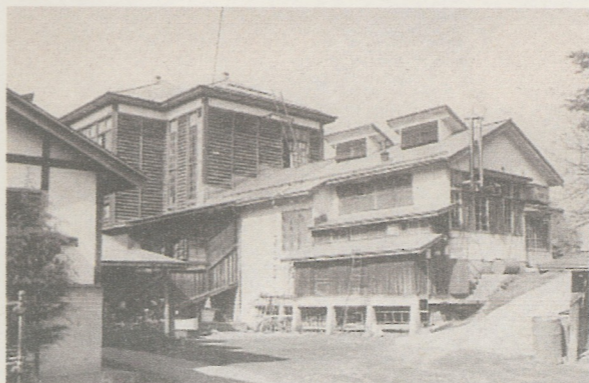
思い出の小学校（北部小学校）



旧北校舎竣工（昭和8年5月撮影）



旧南校舎東側増築直後（昭和32年7月撮影）



旧給食室（昭和48年7月撮影）



現 北部小学校

木島平村が55歳を迎えます

昭和30年2月1日、上木島村、往郷村、穂高村の3村が合併し木島平村が誕生してから来月1日で55周年を迎えようとしています。8206人だった合併当時の人口も今では、5066人とわずか5千人を割ってしまうほど減少している現状です。

平成の大合併の波も押しつけ、平成16年3月11日の自立宣言から、新たな村づくりを進めるため、住民の皆様が主体となって行政運営に参画する「協働の村づくり」を進めてまいりました。

豊かな自然に恵まれ、ふるさとの原風景が残る木島平村が今後も全国に誇れる村、活気にあふれる村として残せるよう村民一丸となって新たな時代を切り開いていくことが大切だと感じています。

また、今年には調布市との姉妹都市盟約から25周年を迎えます。今後とも更なる交流人口の拡大に向け努力していく考えであります。



▲木島平村役場の正面玄関（昭和30年頃）

「ご寄附ありがとうございました」

73人の会員の皆様から1,06万6千円のご寄附をいただきました。来月4月に開校する「木島平小学校」モニュメント制作費の一部として使わせていただきます。皆様の「ご好意」に感謝申し上げます、御礼にかえさせていただきます。